

第6回 松林防除実践講座

主 旨	松保護士等を対象とする松林の適切な防除計画の策定と的確な防除の実施に必要な技術・知識の習得を目的とする。
対 象	全国の松保護士、樹木医、都道府縣市町村の森林病虫害防除担当者および首都圏の森林組合職員など
時 期	平成22年11月11日(木)、12日(金)の2日間
場 所	千葉県富津市県立富津公園
研 修	君津市ホテル千成、実習場所:富津岬松原(県有林)
宿 泊	ホテル千成(君津市東坂田 4-1-1 TEL:0439-52-8511)
参加費	22,000 円
募集人数	70 名(定員になり次第締切)
主 催	(財)日本緑化センター
後援(予定)	林野庁、千葉県、松保護士会、全国森林組合連合会、千葉県森林組合連合会、(社)ゴルファーの緑化促進協力会、(社)千葉県造園緑化工事業協会

※ 本講座は「松保護士登録更新制度対象講座」で、対象者は3～4期(No.156～259)です。

講座スケジュール

	時間帯	内 容
1 日目	13:00～13:15	開会の辞(当センター常務理事) 来賓挨拶(千葉県中部林業事務所長 麻生 友二郎)
	13:15～13:45	報告「千葉県における松枯れの現状と対策について」 (千葉県農林総合研究センター森林研究所主席研究員 遠藤 良太)
	13:45～14:15	報告「千葉県における森林療法への行政的取り組みについてー松林の癒し効果」 (千葉県森林課森林づくり推進室副主査 総谷 珠美)
	14:15～15:15	特別報告「樹幹注入によるマツ材線虫防除のメカニズムと適正な施用について」 (岐阜県立森林文化アカデミー客員教授 田畑 勝洋)
	15:15～16:15	特別報告「松くい虫被害ピンポイント防除について」 (森林総合研究所東北支所研究調整監 中北 理)
	16:15～17:30	特別講演「松林に散布された薬剤の飛散実態と健康影響の可能性ー7年間の調査結果から明らかになったことー」(東京農業大学客員教授/千葉大学大学院名誉教授 本山 直樹)
	18:00～	交流会
2 日目	8:30～9:00	富津岬松原(県有林)へホテルからバス2台で移動
	9:00～9:15	①岬公園展望塔から全体説明(千葉県森林づくり推進室)
	9:15～9:30	展望塔から実習場所へ徒歩で移動
	9:30～9:40	②当年松枯れ被害木の外観調査の要領(千葉県森林づくり推進室)
	9:40～10:15	③「潜在感染木」の有無確認のための当年枯死木半径 15m 以内(区画設定:君津支所)における小田式松脂滲出調査((財)日本センター等)
	10:15～11:00	④被害木3～4本伐倒(2～3本は事前に伐倒、千葉県森連君津支所)、伐倒した被害木から複数箇所材片を採取(千葉県農林総合研究センター森林研究所)、長さ 1m 程度に玉切り(君津支所)、グループ毎に後食痕・産卵痕、マダラカミキリ幼虫の観察
	11:00～11:45	⑤-1 伐倒くん蒸のデモンストレーション(指導:サンケイ化学㈱)を見学 2 班に分かれ⑤⑥を実習 ⑤-2 伐倒くん蒸、参加者有志による実習(指導:サンケイ化学㈱)
	11:45～12:10	⑥天敵微生物製剤(バイオリサ・マダラ/出光興産㈱)のデモンストレーションと参加者による実習(1 本分)
	12:10～12:30	⑦上記③「潜在感染木」の松脂滲出状況の確認、剥皮箇所補修(参加者)
	13:20～14:20	(昼食、キャンプ場へ徒歩で移動) 3 班に分かれ⑦⑧を実習(20 分/資材) ⑦樹幹注入のデモンストレーション(グリーンガード/ファイザー㈱ 松健児/ヤシマ産業㈱)と参加者による実習 ⑧土壌灌注のデモンストレーション(ネマバスター/石原バイオサイエンス㈱)と参加者による実習
	14:20～14:50	(ホテル千成へバスで移動)

14:55～15:15	⑨採取材片からマツノザイセンチュウ検出と顕微鏡による確認(千葉県農林総合研究センター森林研究所)マツノザイセンチュウ成虫標本を準備
15:15～15:30	⑩メーカー4社の補足説明(3分/社)
15:30～15:40	⑪質疑応答(コーディネーター:千葉県農林総合研究センター森林研究所など)
15:40～16:00	⑫講座修了証の交付
16:00	閉会の辞(当センター企画広報室長)、解散